

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	宇宙通信工学		
英文授業科目名	Space Communication Technology (Lecture and Practice)		
開講年度	2008年度	開講年次	3年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	講義・演習	単位数	2
科目区分			
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	富澤 一郎（菅平宇宙電波観測所）、田口聡・細川敬祐（C学科）		
居室	西2-508		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tomizawa@ee.uec.ac.jp	<a href="http://ssro.ee.uec.ac.jp/ssro/jisshu.html">http://ssro.ee.uec.ac.jp/ssro/jisshu.html</a>

<b>【主題および達成目標】</b>
<p>近年における高度情報化社会の進展とともに、電気通信に関する社会的ニーズはますます広域化、多様化しており、とくに「宇宙通信」は、現代の社会基盤として欠くことのできない要素の一つとなっている。</p> <p>この講義の目標は、宇宙通信の成り立ちから実際にいたる包括的講義、通信システムや宇宙環境についての多面的講義、さらに実際に人工衛星追尾・受信システムを用いた操作実習を行うことにより、宇宙通信に関する総合的理解を図ることにある。</p>

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
力学第一または力学概論、波動と光または電磁気学概論、コンピュータリテラシー

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
なし。

<b>【教科書等】</b>
なし。適宜プリントを配布する。

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【授業内容とその進め方】

授業は、e-Learningを利用した導入講義、調布キャンパスでの講義および菅平宇宙電波観測所での実習とから成り、6月～夏休み期間に集中実施する。その内容は以下のとおりである。

[調布での講義内容] (変更の可能性あり)

1.宇宙通信へのいざない(C:福田)[e-Learning]、2.衛星通信概論(C:藤野)、3.電波と衛星通信(E:唐沢)、4.衛星通信回線(H:中嶋)、5.アンテナシステム(E:安藤)、6.宇宙電磁環境(C:田口)、7.信号処理と衛星通信(C:小島)、8.菅平実習ガイダンス(菅:富澤)

[菅平での実習内容] 担当：菅：富澤・C:田口・C:細川・技:瀬尾・技:有澤・技:青木・TA 4名

1.極軌道人工衛星軌道計算実習、2.極軌道人工衛星追尾受信システムによる実習、3.静止軌道衛星受信実習、4.人工衛星受信画像データ解析実習、5.放送衛星受信実習、6.GPS衛星受信実習、7.アマチュア衛星通信システムを用いた実習

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

8月末に各授業科目および実習の課題について個別レポートを提出し、担当教員が内容および達成度を評価する。評価割合は授業科目50%、実習50%である。それらの総合点で成績を評価する。授業及び実習に出席しても、レポートを提出しなければ合格としないので注意すること。

### 【オフィスアワー：授業相談】

授業全体の相談については、富澤に事前に電子メール(tomizawa@ee.uec.ac.jp)で予約の上、来室すること。

### 【学生へのメッセージ】

受講説明会を、4月14日(月)6時限目に、総合研究棟306号室で開催します。受講希望者は、必ず出席してください。

講義や実習の導入部分は、e-Learningにより6月より開始します。集中講義及び実習は8月6～11日に開講します。講義部分は調布キャンパスにて行い、実習部分は菅平宇宙電波観測所にて行います。実習の往復にはバスを用意しますので、交通費負担はありません。ただし、宿泊費及び食費など10000円が必要です。[注意: 詳しい日程は決定次第ホームページにてお知らせします。]

### 【その他】

宇宙通信工学ホームページに積極的に情報を掲載しますので、必ずご覧下さい。過去の内容や報告なども掲載していますので、応募するときの参考にして下さい。